



青少年交換委員会  
委員長

岡田 俊作

(大阪本町RC)

昨年から三地区 (D-2660, D-2640, D-2680) が合同で、来日学生のオリエンテーションを実施することになり二回目を開催致しました。今年度担当の第2640地区 (大阪南部・和歌山全域) 青少年交換委員会のお世話で、ユネスコ世界遺産に選ばれた「高野山」で9月26日 (土) ~ 27日 (日) に行われ、参加者も約70名 (来日学生23名を含むロータリアンとローテックス) を数えました。

徳川将軍家の菩提寺である別格本山・蓮花院 (宿坊) で、9月26日午後3時から来日学生がそれぞれの出身国の国旗を掲げ国歌を斉唱して初日のオリエンテーションがはじまりました。第2640地区ガバナー村上有司様、各地区委員長 (第2640地区豊岡委員長、第2680地区吉田委員長) のご挨拶の後、高野山RCの御協力も戴き、地元の高野山高校のインターアクトメンバーとの交流会や同校の空手部生徒による演武観賞に食い入っていました。その後は、般若心経の写経を体験して蓮花院へ納めました。夕食までの時間には、手品や腹話術の余興も企画されており楽しいひと時でした。

夕食後は、各地区単位に別れてのオリエンテーションを行いました。この夜のオリエンテーションでは、来日から約1か月を経過した時点での来日学生の悩みや問題を引き出して、ロータリアンや海外派遣経験のあるローテックスメンバーからのアドバイスや討論を通じて、日本での生活習慣や学校生活に理解を深めて貰うことを目的としており、同時にホストファミリーとの信頼感のある有意義な生活をする為の指導です。

二日目は早朝の本堂でのお勤めに全員で参加し、読経の流れる中での荘厳な雰囲気味わうことが出来ました。前日各自の願いごとを書いて仕上げた皆の写経が、本尊に供えられていました。その後、午前中は外国語の出来るボランティアガイドの説明を聞きながら、一の橋から奥の院を見学し、歴史上の人物の説明などに興味を示していました。昼食後は、金剛峯寺・伽藍・根本大塔を見学し、高野山を充分満喫して3時過ぎに下山の途につきました。

